



Think ahead



絶えず都市更新を支える企業

SEIYU
成友興業株式会社

Think ahead



弊社はこれまで、建設・環境両事業間のシナジーを発揮させ付加価値を創出する独自の事業運営システム「e Synergy System」を通じて、地域社会や地球環境へ貢献するべく業務に邁進してまいりました。また昨年度は、業界最高水準の分級点等を実現した高度洗浄施設を備えた城南島第二事業所を開設しました。また土壤調査・品質管理部門を強化するべく指定調査機関ならびに計量証明事業所を設置し、環境ソリューション事業をスタートさせ「e Synergy System」のさらなる進化にも努めてまいりました。

この度、SEIYU の技術や経験をさらに次世代へとつなげるべく、新しい品質環境方針「Think ahead・地域社会と地球環境に貢献する」を掲げました。「Think ahead」には、「その先を考える・先を読む」といった意味があります。

戦後の高度経済成長期から半世紀経ち、都市インフラは次世代へと生まれ変わる、都市更新の時代を迎えてます。劇的に変化し続ける東京の都市更新に対し、SEIYU の技術を必要として頂ける機会が増えてきたことに、感謝すると共に責任の重さを実感しております。弊社は今後も継続されるであろう都市更新の下支えとなりつつ、次の半世紀を担う人材を育てる使命を負っています。

その先を考え、地域社会・地球環境に貢献できる人材を育てるべく、弊社は、新品質環境方針「Think ahead・地域社会と地球環境に貢献する」のもと、持続可能で地球環境にやさしい企業を目指し CSR 活動に取り組んでまいります。

本報告書では、健全な企業活動の礎であるコーポレートガバナンス・コンプライアンスなどの社内体制と、前述の「e Synergy System」を紹介しています。

また「成友=とも（友）だちにな（成）ろう」をキーワードに、環境への取り組みやお客様をはじめとするステークホルダーの皆様との社会的な関わり、その他の企業活動について説明しています。ぜひご一読いただき、皆様の率直なご意見をお聞かせいただけますようよろしくお願い申し上げます。

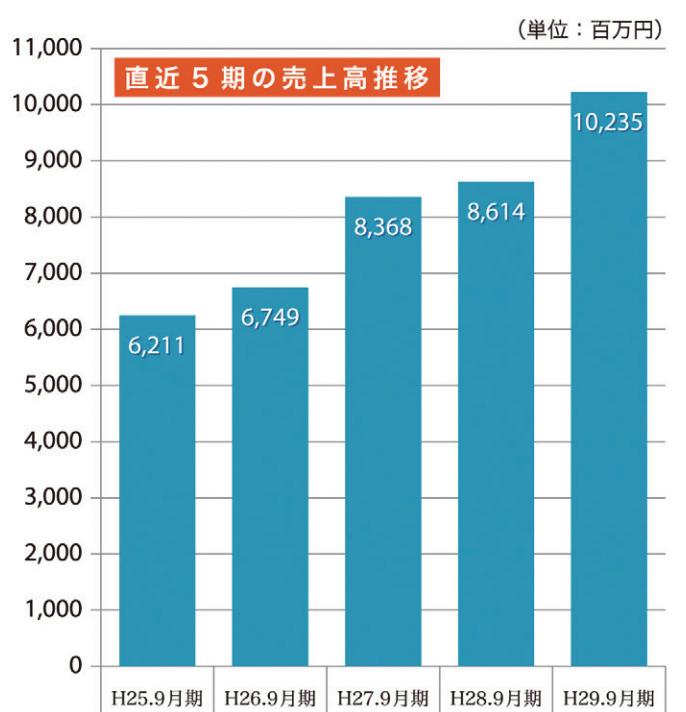
代表取締役
細沼 順人

(編集方針)

この報告書は弊社に関係する皆様に、弊社の社会に対する企業活動を平易な表現で公開することを目的に作成しています。
成友興業株式会社 CSR 報告書は 2013 年 5 月に初版として発行されました。今回の 2018 年 4 月の発行で第 6 版を数えます。
本報告書を通じて、弊社の CSR 活動をご理解いただければ幸いに存じます。

会社概要(平成 29 年 9 月 30 日現在)

| | |
|----------|--|
| 商 号 | 成友興業株式会社 |
| 設 立 | 昭和 50 年 3 月 12 日 |
| 本 社 | 東京都あきる野市草花 1141-1 |
| 資本金 | 2 億 7200 万円 |
| 事業内容 | 舗装工事業、土木工事業、 産業廃棄物処理業、 汚染土壤処理業 他 |
| 従業員数 | 250 名 |
| グループ会社 | 成友セキュリティ株式会社 東京都福生市福生 699-3 |
| 事業所 | |
| 東京本店 | (東京都中央区) |
| 多摩西事業所 | (東京都あきる野市) |
| 多摩北事業所 | (東京都武藏野市) |
| 東京南事業所 | (東京都大田区) |
| 埼玉西事業所 | (埼玉県所沢市) |
| あきる野事業所 | (東京都あきる野市) |
| 城南島第一事業所 | (東京都大田区) |
| 城南島第二事業所 | (東京都大田区) |
| 福生営業所 | (東京都福生市) |



目 次

| | |
|----|------------------------------------|
| 1 | 社是・トップメッセージ |
| 2 | 会社概要 |
| 3 | マネジメント体制 企業価値の向上のために |
| 5 | e Synergy System 環境に配慮した建設事業モデル |
| 7 | 地球と、ともだちになろう。 環境のために |
| 9 | 社会と、ともだちになろう。 社会のために |
| 11 | 地域と、ともだちになろう。 地域のために |
| 13 | 安全と、ともだちになろう。 安全のために |
| 15 | 社員と、ともだちになろう。 社員のために |
| 17 | トピックス |
| 18 | 有識者意見・編集後記 |

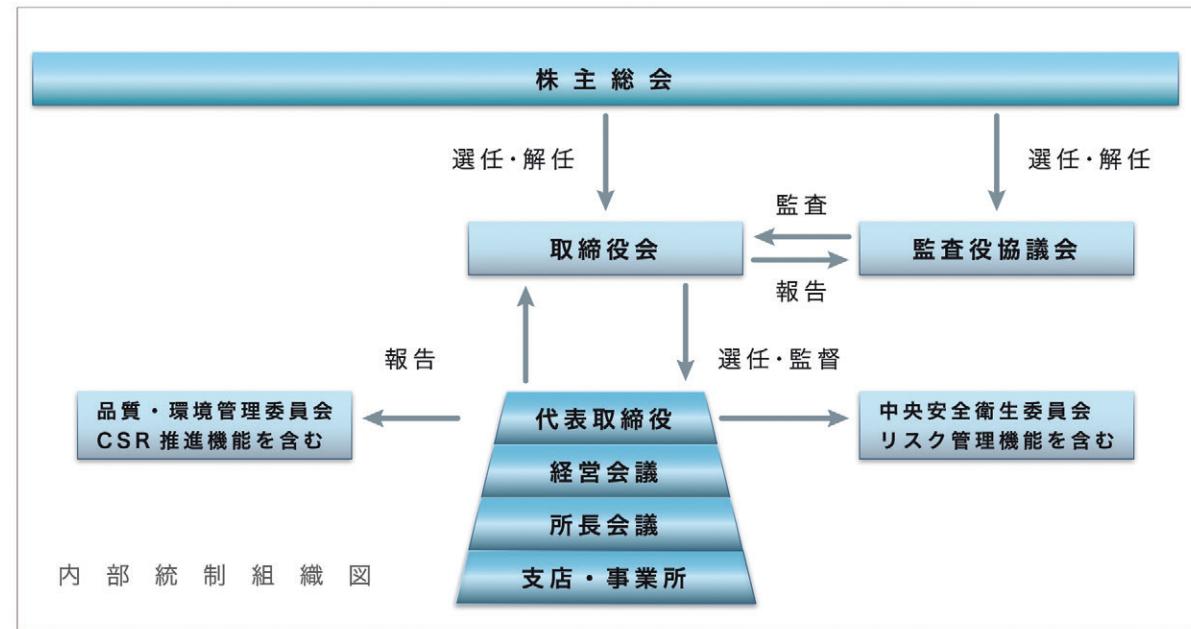
Management System

Corporate Governance

企業統治（コーポレートガバナンス）

弊社は、コーポレートガバナンスにおいて、内部統制の強化および迅速かつ効果的な意思決定を重視しています。健全な企業経営による持続的な企業価値の向上を図るために、業務の監督体制を確立させ、効率的な業務遂行と業務の監督体制を両立します。

弊社は、企業理念を着実に実現し、経営の健全性と透明性を高めることで、全ての利害関係者（ステークホルダー）の皆様への説明責任を果たし、ご満足いただける魅力的な企業の実現を目指します。



Compliance

法令・規範等順守（コンプライアンス）

コンプライアンスには、法令の順守は当然として、各社員が倫理的に正しい判断を行うことが第一に求められます。社内研修等により従業員のコンプライアンス意識の向上を図るとともに、公正かつ適切な業務遂行により、弊社への信頼がより高まるよう努めています。

また弊社代表取締役は西多摩地区建設業界暴力団等排除協議会の会長を務めており、弊社だけでなく業界全体としても反社会的勢力との関係遮断を掲げて業務に取り組んでいます。

ISO system certification

ISOシステム認証

ISO（国際標準化機構）により制定された品質マネジメントシステム規格（平成13年5月認証取得）および環境マネジメントシステム規格（平成21年2月認証取得）に基づき、マネジメントシステムを構築し運用しています。

品質および環境マネジメントシステム規格は平成27年（2015年）にISOにより新規格へ移行されました。平成29年12月に行われたJQA（日本品質保証機構）の第三者審査の結果、その新規格への適合認証も得られました。

今後も、顧客のニーズと期待に応えるとともに環境保全に貢献できるよう、マネジメントシステムを活用し、継続的な改善活動を会社全体で図りながら企業価値の向上につなげております。

The only license for treatment of the contaminated soil in Tokyo Metropolitan Area

東京都で初の汚染土壤処理業

平成15年に土壤汚染対策法が施行されて以降、豊洲移転の土壤問題等土壤汚染が環境問題として広く認識されてきました。弊社は東京都で初めて、土壤汚染対策法に基づく汚染土壤の処理業許可を取得した企業です。城南島第一事業所（平成23年処理業許可取得）、城南島第二事業所（平成28年処理業許可取得）では、汚染土壤の適正処理を通じて、土壤環境の改善に貢献しています。今後も環境配慮に対する高い意識を常に持ちつつ業務に励みます。

The JIS certification for recycled aggregate H for concrete

コンクリート用再生骨材HのJIS認証取得

弊社は、国内で初めて再生骨材HのJIS規格の認証を取得しました。城南島第一事業所で生産する再生骨材のうち、再生粗骨材（5mm以上20mm以下）が平成23年9月に、日本品質保証機構（JQA）からJIS認証（JIS A5021区分A）を受けました。これは全国初の認証取得であり、今後の都市更新において利用促進に更なる拍車がかかることが期待されます。再生骨材Hは、使用骨材の履歴が明らかなコンクリートがら・戻りコンクリートを破碎し、加熱すりもみ方式による高度処理を行うため、バージン材（天然骨材）と同じように普通コンクリートの材料として構造物にも使用することができます。

現在東京都では持続可能な資源利用への取り組みとして3R促進をはじめとする環境負荷低減に向けた取り組みを推進しています。そのため普通コンクリートとして構造物に再使用することのできる再生骨材Hに対する関心は高く、東京オリンピックボート・カヌーで使用予定の「海の森水上競技場」等で使用されています。これからも製品の品質管理体制を強化して、顧客の需要に応えてまいります。

Awarded road buildings

建設部門の受賞など

弊社は、首都圏の道路工事を中心とした各種工事を受注しております。

その中には平成29年7月に東京都建設局長から3年連続となる表彰を受けた事例や国土交通省をはじめとした、発注元より高い評価をいただいた事例が多数あります。

また発注元の意図をくんだ施工体制で、近隣住民へも配慮する姿勢等が認められ、東京都の建設事務所より感謝状をいただいた事例や、各業界団体からもその施工実績が認められ表彰を受けた事例もあります。

今後も質の高い施工を心がけてまいります。



H28八王子南バイパス
他予定地管理工事



16号昭島市松原地区改良舗装
(その1)工事



路面補修工事(28西の3)



交差点改良工事
(27北北-すいすい恋ヶ窪交差点)

e Synergy System

e Synergy System とは、environment(環境事業)と engineering(建設事業)の synergy(相乗効果)で、環境に優しく、高品質なサービスの提供を実現するシステムのことです。建設現場で発生するコンクリートがら、汚泥、汚染土壌といったものを自社プラントで建設資材にリサイクルし、また建設現場へと戻す。さらに、汚染土壌等の指定調査機関事業並びに計量証明事業という 2 つの事業(環境ソリューション事業)を加えることで、開発工事における現地調査から分析までのコンサルティング、建設工事における掘削から運搬、建設産業廃棄物や汚染土壌の処理、さらに、土壌の埋戻し、再生砕石の搬入・仕上げ、建物の外構・舗装工事等の業務を行えるワンストップ体制を整えました。この環境に配慮した仕組み「e Synergy System」を事業の中心に据え、リサイクルシステムを自社に兼ね備えた真の道路メーカーを目指してまいります。

環境に配慮した建設事業モデル

environment & **e**ngineering
Synergy System

Quality & Environment Policy

品質環境方針

Think ahead

地域社会と地球環境に貢献する。

Safety & Health Policy

安全衛生方針

考えて、行動しよう。



For the Global Environment

Material balances

マテリアルバランス

弊社のプラントでは、電力や燃料といったエネルギーを消費して建設廃棄物や汚染土壌のリサイクルを行っています。

マテリアルバランスとは、事業活動に伴うエネルギーや物質の収支を意味し、それらを明示することで、事業活動の環境負荷や課題を明らかにするためのものです。

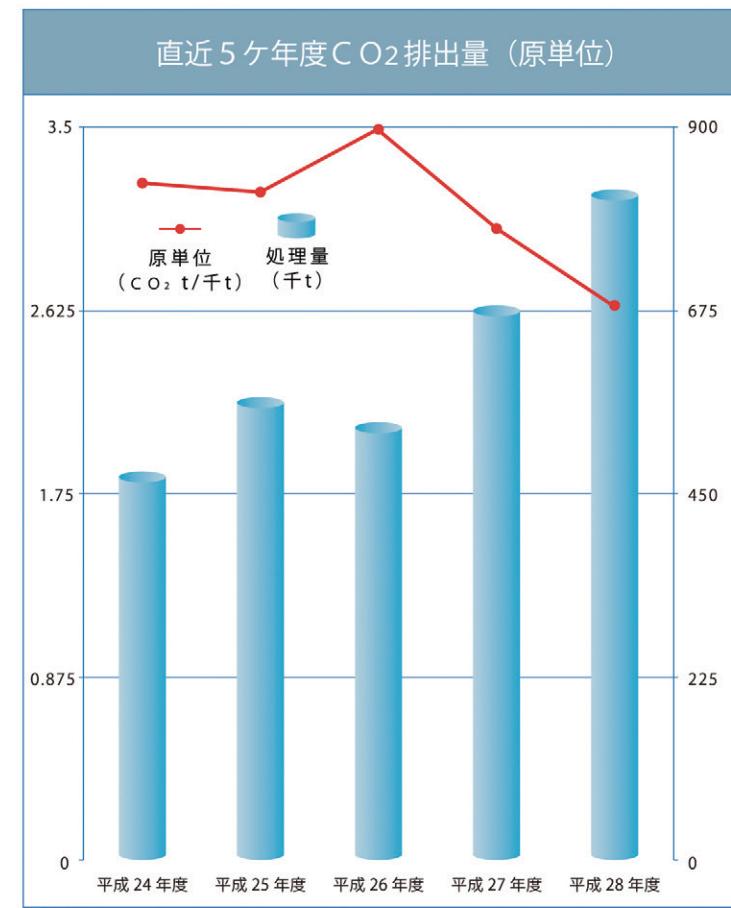
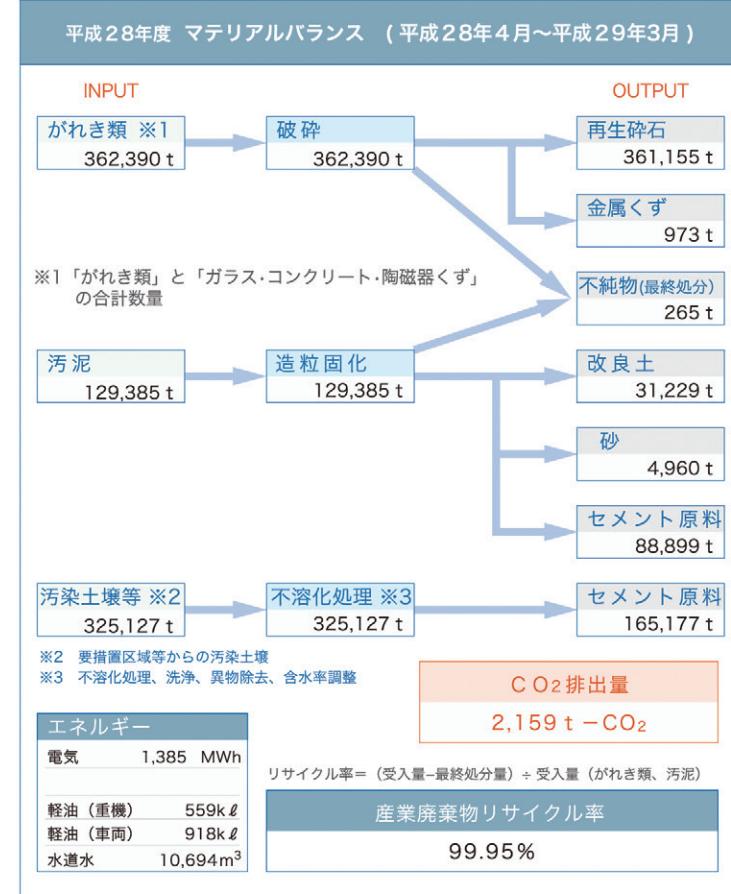
The transition of the intensity of CO₂ emission CO₂ 排出量(原単位)の推移

図は、直近5ケ年度(4月～3月)における弊社の環境事業所(あきる野、城南島第一、城南島第二)におけるプラント処理量の推移を折れ線グラフで、処理量千tあたりのCO₂排出量(原単位: CO₂t/処理量千t)を棒グラフでそれぞれ表現したものです。

プラント処理量の増加に伴い、CO₂排出量原単位が概ね減少している傾向が見られます。

城南島第二事業所が加わってスケールメリットが発揮されたものと考えられ、今後もこの傾向を維持しつつなお一層の削減に向けて、引き続き業務改善活動を展開してまいります。

環境のために



* 法対象外の基準不適合土も処理対象に入れております

Environment Monitoring at the plants

事業所における環境モニタリング

あきる野・城南島第一・城南島第二の3事業所では、地元自治体と環境保全協定書を交わし、これらの協定に基づいて日常の公害防止と定期的な環境モニタリングに努めています。モニタリングの測定項目には自主的に設定した項目を追加しています。具体的な測定項目は表に示すとおりで、その結果には基準値超過などの問題はありません。詳細はp9で紹介している「産廃情報ネット」の弊社ページにある、「優良産廃処理業者認定制度に係る公表事項」内の「直前3年間の処理施設の維持管理の状況」に提示していますので、ご覧ください。

| 分野 | 項目 | あきる野事業所 | 城南島第一事業所 | 城南島第二事業所 |
|-------|---|---------|----------|----------|
| 大気 | アスペスト測定 | 年1回 | 年1回 | 年1回 |
| | ばい煙(ばいじん・窒素酸化物) | — | 年2回 | — |
| | ばい煙(降下ばいじん) | — | 年1回 | — |
| | 粉じん(浮遊粉じん) | — | 3ヶ月に1回 | 3ヶ月に1回 |
| | 粉じん(第二種有害物質) ※セレンを除く | — | 3ヶ月に1回 | 3ヶ月に1回 |
| 水質 | 砒素・ふっ素 | | 3ヶ月に1回 | |
| | 第一種・第二種・第三種特定有害物質 BOD, COD, SS | — | | 3ヶ月に1回 |
| | 第二種特定有害物質(アルキル水銀含む) BOD, COD, SS | — | 3ヶ月に1回 | — |
| 排水 | 第二種特定有害物質・銅、亜鉛 pH, SS, T-Cr, s-Fe, s-Mn(※) | | | 1ヶ月に1回 |
| | 騒音・振動 (単位dB) | 月1回 | 月1回 | 月1回 |
| | 再生砂・再生碎石 六価クロム溶出試験 | 月1回 | 月1回 | — |
| | 汚染土壌等処理後物 土壤分析試験(溶出量(26項目) 含有量(9項目)) | — | 月1回 | 月1回 |
| 汚染土壌等 | 放射能濃度測定(Bq/kg(wet)) | — | 月1回 | 月1回 |

Modal Shift

モーダルシフト

弊社は不溶化処理済土壌の再処理施設として全国各地にある大手セメントメーカーの各工場と契約しています。長距離運搬の際には船舶も併用することで運搬業務により排出されるCO₂の削減に努めています。また従来は輸送コストがネックとなり、全国各地のリサイクル資源が広域的に利用されていませんでしたが、このモーダルシフト(輸送手段の転換)により輸送コストの低減も図れます。

弊社は、平成25年5月に策定された第三次循環型社会形成推進基本計画のもと、自治体・東京スーパーイコタウン内企業の協力を受け、産業原燃料の広域共同海上輸送システムの構築実証事業を行うなど、必要な資源を全国単位で供給できるシステムの構築を目指しています。





For the Society

社会のために

Welcoming the visitors to our plants

施設見学受入

弊社では可能な限り見学希望にお応えしており、平成 28 年度で約 900 名の見学者の受け入れを行いました。

城南島第二事業所では、東京都環境局主催のスーパー エコタウン見学会をはじめ、行政機関、業界団体、建設会社、設備企業、さらには海外から多くの見学希望が寄せられます。

皆様にリサイクル事業への理解を深めていただけた助となっています。



Publication of the information of the industrial waste disposal

産業廃棄物処理業者情報の公開

公益財団法人産業廃棄物処理事業振興財団の「産廃情報ネット」にて、弊社の情報が公開されています。トップページの「産廃処理業者検索」にて、業者番号「009089」または、処理業者名の一部「成友」を入力することでご覧いただけます。また、弊社は環境省から優良産廃処理業者に認定されていることから、同省が運営する「優良さんばいナビ」にも掲載されています。

Waste Information Network
さんばいんふぉと

■会社情報
成友興業株式会社
代表者名：成友興業株式会社
本社住所：〒197-0072 東京都大田区蒲田東町141-1
代表者名：成友興業株式会社
代メールアドレス：towayoshi@akiruno.co.jp
電子マニフェスト対応：切手貼付式日本郵便産業廃棄物回収センターJ-WETの監査済み表示しています
申請登録年月日：2014/02/01

■優良産廃処理業者登録認定の情報公開
登録認定登録年月日：2014/02/01

■許可取得情報
許可登録年月日：2010/09/01 許可登録年月日：2010/09/01

優良さんばいナビ
産業廃棄物処理業者登録認定システム
成友興業株式会社
T197-0072 東京都大田区蒲田東町141-1
TEL: 042-558-4111
電子マニフェスト対応：切手貼付式日本郵便産業廃棄物回収センターJ-WETの監査済み表示しています
申請登録年月日：2014/02/01

■中間処理
■収集運搬
■自治体別の許可一覧
■全国の許可取得状況
■登録認定登録年月日：2014/02/01

Internship for the students

学生インターンシップ

弊社の取り組みについてより一層興味を持ってもらうために、近隣の大学や工業高校から職業体験として学生の方を受け入れています。今後も積極的に受け入れていきたいと考えています。



多摩西事業所にインターンシップに来てくれた日本工学院八王子専門学校の生徒さんの様子

Collection of used postage stamps, etc.

使用済み切手その他の回収

弊社は、社会福祉法人あきる野市社会福祉協議会の団体会員となっています。当協議会では、福祉活動資金の一部として、使用済み切手を収集し、ボランティアの手によって剥がして整理したものを収集家向けに売却しており、弊社も業務で受け取る郵便物に使用された切手を回収して当協議会へ提供しています。その他、ベルマーク、ペットボトルのキャップなどの収集も行っています。集めたベルマークやキャップは弊社が加盟している一般社団法人東京都産業廃棄物協会を通じ、東日本大震災で被災した学校や児童への支援に使用されています。

Column

Tree-planting campaign

緑化活動

平成 29 年 1 月に稼働した城南島第二事業所では、屋上のウッドデッキの周りに緑地を設置しています。そのほかにも弊社のロゴが浮かび上がるよう作られた芝生等、屋上緑化を行っています。緑あふれる屋上は工場見学に来られた方からも好評をいただいております。また従業員のくつろぎの空間としても利用されており労働環境の向上に繋がっています。



For the Community

地域のために

Cleaning activities (Construction Site)

清掃活動（建設事業工事現場）

日頃、弊社にご理解・ご協力いただいている近隣の皆様のご好意に応えるべく、本社・事業所・各工事現場の周辺で清掃活動を行っています。状況に応じてスイーパー車を使用し、人の手の及ばない箇所まで広範囲な清掃をしています。



Positive participation in local events

地元行事への積極的な参加

秋川駅前通りで毎年行われているあきる野夏祭りや、事業所に隣接した森川神社の例大祭において神輿の担ぎ手として参加しています。また、4日間かけて盛大に行われる福生七夕祭りにも毎年協賛しています。



Participation in emergency drills

防災訓練への参加・AED の設置

防災には地域との連携が重要であるという考えから、地域の防災訓練には積極的に参加しています。平成29年3月には東京スーパーイコタウン協議会及び防災協定企業による共同防災訓練に城南島第一・第二両事業所職員が参加しました。また、平成28年10月には、東京本店が入居しているビル内の防災訓練にも参加し、非常時の避難経路の確認や、AEDの取り扱いについての実習を交えた講習を行いました。また、万一の場合に備え、全事業所にAEDを設置し、社員だけでなく近隣の皆様にも使用していただけるように、本社では入口に設置しています。



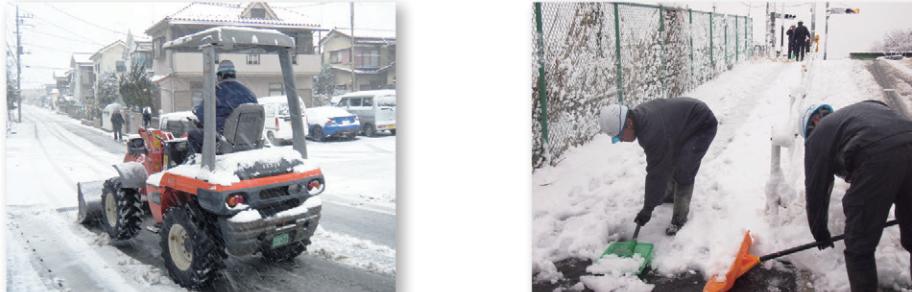
Snow-removal work

除雪活動

毎年積雪時は、本社前および各事業所周辺にて除雪活動を積極的に行うように心がけています。

また除雪作業にも用いることのできる小型のタイヤショベルも導入しています。

今後も積雪時には日頃お世話になっている地域の皆様の利便を第一に除雪作業に当たってまいります。



Agreement of countermeasures against disaster and Business continuity plan

災害対策協定及びBCP(災害時の事業継続計画)

弊社では、平成25年度に東京都産業労働局の支援のもとで BCP（災害時の事業継続計画）を策定しました。内容は下記のURLに掲載されていますのでご覧ください。

<http://www.sangyo-rodo.metro.tokyo.jp/shoko/keiei/BCP/bcp/pamphlet.htm>

（東京都産業労働局 HP「東京都 BCP 策定支援事業 取組事例集」）

弊社の BCP は、発災時に社員及びその家族の安否確認を行うとともに、国道事務所や各地方自治体と締結している災害対策協定に基づく被災地の道路啓開を率先して行い、近隣住民の皆様の利便を図ることを主目的としています。また、平成30年1月には国土交通省関東地方整備局で推進している「建設会社における災害時の基礎的事業継続力認定」を取得しました。

Column

The commendation of the chief of the Bureau of Construction

建設局長表彰

平成29年7月に平成29年度東京都建設局優良工事等表彰式において、3年連続となる東京都建設局長表彰を受賞しました。本表彰は、成績が優良で、下記いずれかに該当した工事が対象となっております。

1. 特に困難な施工条件を克服して工事等を完遂したもの
2. 施行にあたっての熱意・創意工夫等が特に優れ、他の模範となるもの
3. その他、局事業の遂行に著しく貢献したもの

今回優良工事として表彰を受けたのは、都道249号線及び都道166号線の2ヶ所で施工した、「路面補修工事（28西の3）」となっております。





For the Safety

安全のために

Safety patrol

安全パトロール

建設事業、環境事業とも現場の安全パトロールを成友興業安全衛生協力会とともに月1～2回実施し、危険な場所がないか、危険防止処置がとられているかを常にチェックしています。

役員によるパトロールも年2回行っており、社員の安全意識の向上に繋げています。



Seiyu Security

成友セキュリティ

平成28年8月に弊社完全子会社となった成友セキュリティ株式会社は、工事現場周辺の交通整理や、雑踏警備などで豊富な実績を有しています。また、平成27年11月には吉祥寺事業所を開設し、より広域のお客様に対応できるようになりました。成友セキュリティと連携をとることにより、工事現場での警備員との意思疎通がスムーズになり、社内の安全意識の向上にも役立っています。



Preparation & Checking of the facilities and machines

機械設備や重機等の整備・点検

安全作業を行うためチェックリストを用いて機械設備、重機の整備点検を行っています。

ダンプトラックでは日常点検をはじめとした整備・点検を行うことで、整備不良事故ゼロを目指し、安全運転に努めています。



Safety education using event data recorders

安全規則とドライブレコーダーによる安全教育

規則として「成友興業安全運転規則」、ドライバー職に対する安全運転を徹底しています。また、安全の向上を図ることを目的として、全てのダンプトラックにドライブレコーダーを設置し、運転状況を記録しています。その記録は、安全担当者が常にチェックするとともに、安全運転の研修材料として活用することで、危険の芽を事前に摘み取るのに役立てています。また、ダンプトラックだけではなく営業車両へのドライブレコーダーの導入も進めしており、営業車両もほぼ全車両に導入されています。



Safety Promotion ,etc.

安全推進大会など

各事業所では、安全衛生に関する協議会を毎月実施しています。また年に一度、社員と成友興業安全衛生協力会員との合同安全推進大会を開催しています。

直近の安全推進大会は、平成29年6月に新宿ワシントンホテルにて社員および協力会社等総勢約200名出席のもと、委員長訓話、安全表彰、安全宣言などを行い、独立行政法人労働安全衛生総合研究所リスク管理研究センター センター長高木元也様による特別講演「建設現場で繰り返し発生する 労働災害の防止とヒューマンエラー」が行われました。また昨年に続き安全標語の募集・表彰が行われ、300点以上の応募の中から最優秀賞1点、優秀賞3点が選ばされました。

最優秀賞 『作業前 まずは現場を ひとまわり 五感を駆使して 危険予知』



「成友興業安全運転規則」

- ・かもしれない運転の徹底
- ・右左折時最徐行
- ・車間距離 0102
- ・バックは急ぐな先ず確認

「プロドライバーとしての安全運転 10 則」

1. 法定速度・制限速度の遵守
2. 飲酒運転の禁止
3. 一時停止は止まれ・右左折時最徐行
4. 車間距離の確保 0102
5. 停止車間距離は一車長確保
6. 信号機・黄色は止まれ
7. 停止時はサイドブレーキを確実に引く
8. 無線機の私語は厳禁
9. バックは先を急ぐな先ず確認
10. かもしれない運転の徹底

For the Employees

Employees' training

社員のために

社員研修

弊社の社員研修は、建設事業と環境事業という2つの主要事業があることから、職種により違いがあります。建設事業は建設業法等の規制、環境事業は廃棄物処理法、土壤汚染対策法等の規制を受けており、各業務を行うにあたっては専門的な知識が必要です。

弊社では社員の所属や職位などに応じた教育を行い、社員の知識・技術レベルの向上を継続的に図ることで、法令の順守や事故の防止に努めています。

新入社員教育

入社後、社内(OJT)と社外(Off-JT)合わせて約6ヶ月間の研修を行っています。技術系社員(土木施工管理)に対しては、社内で先輩社員によるマンツーマンでの指導を4ヶ月、社外(専門の教育訓練機関)で土木基礎の講義と実習を2ヶ月行っています。また、保険や財形預金といった内容の新社会人向けセミナーも、外部講師を招いて実施しています。

資格取得の奨励

弊社では業務に必要な資格の取得を奨励しています。資格取得のために社内研修を実施するとともに、各種検定試験の受験準備講習会などの外部研修も、積極的に受講できる体制づくりを行っています。

環境啓発教育

若手社員向けのマニフェスト講習を社内に行なうほか、東京都環境局主催の産業廃棄物適正処理説明会や、アスベスト適正処理の講習会等を受講しています。

各種講習会への参加

東京建設業協会をはじめとする各種加盟団体や、東京都など自治体が主催する講習会等に積極的に参加できるよう努めています。若手社員フォロー研修会や産業廃棄物処理に係る基礎講習会、安全衛生研修会など、様々な役職・職種の社員がスキルアップのための講習を受けられるようになっています。

Licenses of the employees**保有資格****社員の保有資格一覧 (平成29年9月30日現在)**

| 資格名 | 人数 | 資格名 | 人数 |
|----------------|----|----------------|----|
| 1・2級土木施工管理技士 | 49 | 環境計量士(騒音・振動関係) | 2 |
| 1級造園施工管理技士 | 5 | 土壤汚染調査技術管理者 | 2 |
| 1・2級舗装施工管理技士 | 8 | 東京都1・2種公害防止管理者 | 5 |
| 廃棄物処理技術管理者(中間) | 6 | エネルギー管理員講習修了者 | 1 |
| 廃棄物処理技術管理者(破碎) | 6 | 1種衛生管理者 | 5 |
| 大気関係第2種公害防止管理者 | 1 | 運行管理者 | 9 |
| 水質関係第2種公害防止管理者 | 2 | 防火管理者1 | 1 |
| ダイオキシン類公害防止管理者 | 1 | 安全管理者 | 2 |
| 技術士(資源工学部門) | 1 | 危険物甲種 | 1 |
| 環境計量士(濃度関係) | 2 | 品質管理責任者 | 3 |

Group tours**社員旅行**

6~7月にかけて年に1回の社員旅行を実施しています。本年度は4つのグループに分けそれぞれ、岐阜、三重、島根、静岡を中心の計画を立て、思い思いに旅行を楽しみました。

**BBQ party for the new employees****新入社員懇親バーベキュー**

毎年4月に新入社員懇親バーベキューを行っています。社長をはじめ各事業所の若手社員も参加し、親睦を深めています。

**Health maintenance for employees****社員の健康維持のために**

協力会社の方々も含め、毎年11月にインフルエンザの予防接種を実施しています。また、血圧計を各事業所に配備し、社員が自由に計測できるようにしています。

Golf club**ゴルフ部会**

毎年、創業日が含まれる3月に創立記念ゴルフコンペが行われます。その他にも有志によるコンペが数回開催されており、社員間の親睦が図られています。

**Award for employees****社員表彰**

永年勤続および業績表彰、安全表彰の各制度を設けています。



Topics

Commendation ceremony for the promoter of 3R (Reduce, Reuse, Recycle) campaign

平成 29 年度リデュース・リユース・リサイクル推進功労者等表彰

平成 29 年 10 月 31 日（火）に「平成 29 年度リデュース・リユース・リサイクル推進功労者等表彰」の表彰式が行われ、弊社多摩西事業所がリデュース・リユース・リサイクル推進協議会会長賞を受賞いたしました。当表彰は、リデュース・リユース・リサイクル推進協議会の主催で毎年行われており、発生抑制（リデュース）、再使用（リユース）、再資源化（リサイクル）に取り組み顕著な実績を挙げている個人・グループ・学校・事務所・地方公共団体等を表彰するものとなっております。今回の受賞は城南島事業所（現城南島第一事業所）が 27 年度に国土交通大臣賞を受賞以来 2 度目となります。受賞したテーマは「建設工事で発生する建設副産物をほぼ全量リサイクルし、環境負荷の低減に貢献する。」であり、p5～6 にて紹介しました e-Synergy System を用いた建設事業の 3R 活動による自然環境への負荷の軽減が評価されました。



Jonanjima 2nd plant

城南島第二事業所紹介

城南島第二事業所が平成 29 年 1 月より稼働し、1 年が経過しました。本施設は東京スупエコタウン事業の第 3 次公募で採択された施設です。環境基準を超過した汚泥や汚染土壌、また埋設廃棄物等を受け入れ、洗浄処理及び造粒固化処理を行っています。処理後は建設資材となる砂やセメント原料の粘土の代替品となる改質土にリサイクルを行っています。製品の砂は、計量証明事業所登録を受けた環境分析センターにて品質分析を行い、安心安全にご利用いただけます。平成 29 年の 5 月からは、2 交代制での処理により 24 時間処理をスタートし、適正かつ安定処理を進めております。操業 2 年目となる本年は、さらなる事業拡大を念頭に入れ、第二工場の利用価値を高めて参ります。

産業廃棄物処理施設処理能力

| | |
|---------|--------------------------|
| 破 碎 | 2,880 t / 日 |
| 脱 水 | 2,152 m ³ / 日 |
| 造 粒 固 化 | 1,440 m ³ / 日 |



汚染土壌処理施設処理能力

| | |
|---------|--------------------------|
| 洗 净 | 2,880 t / 日 |
| 不 溶 化 | 1,440 m ³ / 日 |
| 異 物 除 去 | 1,920 t / 日 |
| 含水率調整 | 1,440 m ³ / 日 |



Third-Party Expert Comment

成友興業株式会社は e Synergy System を事業の中心に据え、建設と環境事業のシナジー追求のもと、サービスの品質向上ならびに地域社会と地球環境の貢献に向け着実に取組んで来られました。そうした中、平成 29 年度には東京都スупエコタウン事業の第三次公募で採択された施設として城南島第二工場が本格稼動しました。当該施設は、かつて日本で高度に発展した資源回収における選鉱技術を基礎とした上で、高水準のシルトデハイダーや炭酸マイクロバブル洗浄による塩素の高効率除去の実現など最先端の高度洗浄リサイクルが可能な施設として導入され、建築廃材や建設汚泥に対するリサイクル能力の更なる高度化を実現されています。12 月には東京都の再生碎石利用拡大支援制度に基づき、基準認証に沿った再生碎石を製造できる工場として第一号認証を受けるなどビル解体他で発生するコンクリート塊のリサイクルに対する取組みも評価されています。一方、新たな事業の柱として環境ソリューション事業を展開される中で環境分析センターを併設され、最新鋭の分析機器のもと土壤汚染調査や計量証明事業など取引先の様々なニーズにも対応されています。日本国内においては、2020 年まで残すところ約 2 年となり、東京オリンピック開催に向けた建設需要は今後一層の高まりが予想される一方で、様々な自然災害への備えやその対応能力の強化はますます重要な課題になっています。その点からも、当社環境事業に対する社会的存在意義は益々高まるばかりであり、是非とも建設関連リサイクルのリーディングカンパニーとして日本経済を牽引する存在として発展されることを祈念しております。

株式会社三菱 UFJ 銀行 立川支社
支社長 松井 幹和



Editorial postscript

(編集後記)

成友興業株式会社 CSR 報告書 2018 を最後までお読みいただき誠にありがとうございます。
弊社の社会的課題への取組みとその結果を、「環境」「社会」「地域」「安全」「社員」という 5 つの観点から、平易な表現で読者の皆様にお伝えするべく心がけました。
今回をもちまして第 6 版を数える中、本報告書が弊社の社会的活動へのご理解を深めていただく一助となれば幸いです。

ぜひとも、巻末に添付したアンケートにご回答をいただき、本報告書をお読みになったご感想やお気づきの点など忌憚のないご意見をお寄せいただきたく存じます。

最後になりましたが有識者意見をお寄せいただいた株式会社三菱 UFJ 銀行立川支社松井幹和支社長に感謝いたしますとともに、今後とも読者の皆様を含めたステークホルダーの方々の視点を意識し、継続的な業務改善や資質向上を通じて持続可能な企業活動に努めてまいります。

対象期間 平成 28 年 10 月 1 日～平成 29 年 9 月 30 日（一部期間外の情報を含む）

発行日 平成 30 年 4 月

作成部署 成友興業株式会社 CSR 報告書 2018 作成委員会

連絡先 成友興業株式会社総務企画部 TEL 03-3538-4111 FAX 03-3538-4002

E-mail info@seiyukogyo.co.jp



成友興業株式会社 CSR報告書2018 アンケート

成友興業株式会社 CSR報告書2018作成委員会 行

FAX : 03-3538-4002

CSR報告書2018をお読みいただきありがとうございます。

皆様からのご意見を今後の報告書の改善に役立てていきたいと思います。

Q1. 本報告書を読まれての感想をお聞かせ下さい。

[報告書の構成]

- | | | | |
|-------------|--------------------------------|-----------------------------|--------------------------------|
| 1) 分りやすさ | <input type="checkbox"/> 分りやすい | <input type="checkbox"/> 普通 | <input type="checkbox"/> 分りにくい |
| 2) ページ数・情報量 | <input type="checkbox"/> 多すぎる | <input type="checkbox"/> 普通 | <input type="checkbox"/> 少なすぎる |

報告書の記事の中で不足していると思われる点がありましたらご記入ください。

()

[取組内容]

- | | | | |
|---------------------|--------------------------------|-----------------------------|---------------------------------|
| 3) e Synergy System | <input type="checkbox"/> 評価できる | <input type="checkbox"/> 普通 | <input type="checkbox"/> 評価できない |
| 4) 環境のために | <input type="checkbox"/> 評価できる | <input type="checkbox"/> 普通 | <input type="checkbox"/> 評価できない |
| 5) 地域・社会のために | <input type="checkbox"/> 評価できる | <input type="checkbox"/> 普通 | <input type="checkbox"/> 評価できない |
| 6) 安全・社員のために | <input type="checkbox"/> 評価できる | <input type="checkbox"/> 普通 | <input type="checkbox"/> 評価できない |

特に評価できる(もしくは評価できない)ところはどこでしたか?

()

Q2. 本報告書のことをどちらで知りましたか?

- | | | |
|------------------------------------|-------------------------------------|-----------------------------------|
| <input type="checkbox"/> 当社ホームページで | <input type="checkbox"/> インターネット検索で | <input type="checkbox"/> 当社営業担当より |
| <input type="checkbox"/> マスメディア() | | <input type="checkbox"/> その他() |

Q3. ご意見・ご感想などご自由にご記入ください。

ご協力いただきありがとうございました。差し支えなければ下記にもご記入をお願いします。

ご住所

ご氏名

[情報の取扱いについて] 個人情報は、本アンケートに関する連絡のみの利用として社外への公表・提示は致しません。